

平成29年度 第3回調査・研究委員会会議録

◇日 時：平成29年11月8日（水） 13：00～15：00

◇場 所：杜のホールはしもと（神奈川県相模原市）

◇出席者：忍田委員長代理・宮田副委員長・新井委員・大木委員・高村委員・林委員
事務局（富田・吉田・石井）

1 開会 忍田委員長代理あいさつ

2 報告事項

(1) 公文書館機能普及セミナーについて

10月26日（木）に茨城県立歴史館講堂で開催され、87名が参加した。

アンケートの集計結果によると、大平聡氏による講演、各報告、パネルディスカッションいずれも概ね好評であったと事務局より報告した。

(2) 災害対応について

10月2日（月）～5日（木）に実施した大分県津久見市水損資料レスキューに関する報告があった。また、災害時における全史料協としての対応について、調査・研究委員会で今後検討していく必要があることを確認した。

3 協議事項

(1) 調査事業及び大会報告について

全国大会2日目（11/10）に行われる調査・研究委員会報告（40分間）は、まずアンケート調査の概要説明を行い、次いで津久見市の水損資料レスキューについてスライドを用いて報告する旨の説明があった。

また、アンケートの内容や今後の調査スケジュールについて確認した。

(2) 来年度の公文書館機能普及セミナーについて

今後、山梨県などの公文書館未設置県を中心に交渉する予定である旨の報告があった。

また、担当委員が今年度のセミナー報告を『記録と史料』（「アーキビストの眼」）に執筆することを確認した。

(3) 功労者・若手優秀アーキビストへの表彰制度について

副委員長を中心に今後検討していくことを確認した。

4 その他

(1) ブログについて

今後の対応については、廃止を念頭において検討していくことを確認した。

(2) 第4回委員会について

開催する場合は時期を2月とし、開催するか否かについては12月中に決定することを確認した。

5 閉会